

アブラハムの祈り——旧約聖書の祈り 1

2012/07/25、2012/09/26

神へのつぶやき 創世記第 15 章

ソドムのための執り成し 創世記第 18 章

1. アブラハムという人

2. アブラハムをつぶやきと神の応答

「アブラムは尋ねた。『わが神、主よ。わたしに何をくださるというのですか。わたしには子供がありません。家を継ぐのはダマスコのエリエゼルです。』」 創世記 15 : 2

3. 旧約聖書の中をつぶやきの祈り

- ・嘆きの訴え
- ・神への抗弁

「いつまで、主よ、わたしを忘れておられるのか。いつまで、御顔をわたしから隠しておられるのか。」 詩編 13:2

「主よ、わたしが助けを求めて叫んでいるのに、いつまで、あなたは聞いてくださらないのか。」
ハバクク書 1:2

4. 神の応答——契約の火 創世記第 15 章 17 節

「日が沈み、暗闇に覆われたころ、突然、煙を吐く炉と燃える松明が二つに裂かれた動物の間を通り過ぎた。」

燃える松明は神ご自身を示す。神はアブラハムへの約束を保証し、契約の当事者となられた。

二つに裂かれた動物の間を通るのは、契約が命がけのものであることを表す——神は契約の当事者として、もし約束を破るなら、神が自ら裂かれてもよいという決意を示す。

契約のもう一方の当事者であるはずのアブラハムは深い眠りの中にある。

神がみずから責任を負われる。契約における神の先導性、主体性。

5. わたしは？

不安、危険、葛藤、恐れの中で……

6. ソドムのための執り成し

7. イエスのとりなし

「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」ルカ 22 : 31 - 32

「同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。」ローマ 8:26

「だれがわたしたちを罪に定めることができましょう。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださるのです。」ローマ 8:34

「それでまた、この方は常に生きていて、人々のために執り成しておられるので、御自分を通して神に近づく人たちを、完全に救うことができになります。」ヘブライ 7:25

8. わたしたちのとりなしの祈り

洗礼式文 「祭司職」

「十字架につけられたキリストへの信仰を告白し、その復活を宣言し、ともに祭司職にあずかる者となりましょう」

聖餐式文 感謝聖別

I 「そして聖霊を送り、わたしたちを神の民としてみ前に立たせ、主の祭司として主とすべての人々に仕えさせてくださいます」

II 「わたしたちを、み前に立たせ、祭司として仕えさせてくださることを感謝し」

9. 執り成し——祭司職

神と人々（世界）の仲介をする者